

チームみらい

編集…社会福祉法人親和会

児童心理療育センターみらい

〒699-0822 出雲市神西沖町 2534-2

電話 0853-43-8020

FAX 0853-43-2353

温度差の激しい今春がスタートしています。今年度のみらいは、居住棟のスタッフ配置の体制を改新し、これまで以上に子どもたちとの関係を深めるべく、日々の生活支援にあたっています。

『施設長室の窓』

～long long ago に寄せて～

かきに赤い花咲く いつかのあの家
夢に帰るその庭 はるかなむかし
鳥のうた木々めぐり そよかぜ花ゆらぐ
なつかしい思い出よ はるかなむかし



最近、草花の手入れをしながら気づくと口ずさんでいます。

昭和初期、イングランド民謡を日本の唱歌として発表されたようですが、国は違えど、メロディーも歌詞も懐かしさを感じてます。作者にはかわいい男の子がいましたが、やがて夭折、自身にも不幸が重なります。昔の幸せだったころをしのんで作ったとのこと。のどかな、ゆったりとした時間と共に、庭にかれんな赤い花々が風に揺れている風景が鮮やかに浮かんできます。

この春、当施設から中学生2名、小学生3名が巣立ちました。見送る我々職員は感慨ひとしおでしたが、我が子との離れた生活を送られた保護者の方々の心情を思いますと、その比ではありません。また、子どもたちにしてみれば、住み慣れた家や家族と離れた日々は相当の辛さがあったことでしょう。

いつかここでの生活を思い出した時、無味乾燥な風景ではなく、色とりどりの花々が記憶に添えられていたら…私の独りよがりの思い込みと願望かもしれませんが、その辛かった日々が少し和らぐように思えてなりません。

新学期がスタートしました。分教室での中学部の入学式では、「決意のことば」が述べられ、子どもたちからは新しい環境の中で頑張ろうとする気持ちが窺えました。今、芝桜が列をなして満開です。春の光が植物を育てるように、優しくゆっくりと愛情をもって子どもたちを育てよう…と例の歌を口ずさみながら思っているところです。

みらい施設長 伊藤 進



お知らせ

ご寄付、寄贈品の紹介

- 日本赤十字社 島根支部様より、ご寄付を頂きました。
- 三菱電機株式会社 SOCIO-ROOTS (ソシオールーツ) 基金より、炊飯器と掃除機の寄贈をいただきました。



子どもたちのより良い生活のため、有難く活用させていただきます！！

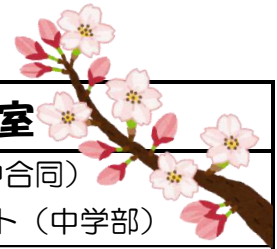


みらい春のフォトギャラリー





今年度の予定



	みらい	分教室
5月	GW外出	遠足（小中合同） 1学期中間テスト（中学部）
6月		運動会（小中合同） 1学期期末テスト（中学部）
7月	七夕 BBQ	個人懇談週間（13日～21日） 終業式（20日）
8月	神西湖祭り	始業式（31日）
10月		2学期中間テスト 小学部6年生修学旅行（1泊2日を予定） 中学部1年生職場見学 中学部2年生修学旅行（1泊2日を予定）
11月	インフルエンザ予防接種 	学習発表会（小中合同） 2学期期末テスト（中学部）
12月	児童忘年会 もちつき	島根県学力調査（小5・6、中1・2） 個人懇談週間（13日～22日） 終業式（22日）
1月	初詣	始業式（9日） 職場見学（中1、中2）
2月	節分	3学期期末テスト（中学部）
3月	退所式 	進路学習報告会 卒業式（13日） 終了式・転退任式（22日）

～その他定期行事～

【医師相談】

第1木曜日（小児科医師）、第3木曜日（心療内科医師）、
第3金曜日（島大小児科医師）、第4月曜日（島大精神科医師）

【セカンド・ステップ】

セカンドステップとは…暴力防止を目的としたプログラムで、子どもたちが体験的に学び、身に付けていくことを主眼としたプログラムです。
毎週木曜日の放課後に、1年を通して行います。

【アニマルセラピー】第3水曜日実施。

【棟活動】日程は未定ですが、月に1回程度で予定されています。

◎変更・追加が生じる場合がございます。
ご不明点は遠慮なくお問い合わせください。





《苦情解決第三者委員》

岡田 好史 様

電話：0853-72-8383

柘植 悦子 様

電話：0853-43-3008

※職員には直接言いにくい苦情、その他ご意見ご要望など様々な相談を受け付けていただけます。

《相談受付》

ご家族の皆様と職員の面談は、お子様の帰宅に合わせた形で週末にさせていただくことが多いですが、ご要望があれば平日でも受け付けております。ゆっくりとお話ができそうな機会がありましたらお気軽にお申し付けください。



みらいの理念や基本方針を紹介させていただきます！

★ 理念 ★

心理的困難や苦しみを抱え、日常生活の多岐にわたって生きづらさを感じる子どもたちに、「生活支援」「心理支援」「教育支援」「医療支援」等が有機的につながる総合的な支援を行い、子どもたちの社会適応能力の育成を図り、将来健全な社会生活を営むことができるようになることを目指す。

★ 基本方針 ★

- ・治療方針を、「受容」(Accept)「関係」(Relation)「展望」(Outlook)とする。
- ・子ども自身が安心して生活でき、自分の思いを表現することを保障する。
- ・子どもの抱える問題に、的確な社会的診断と治療方針を明確にする。
- ・支援者との人間関係を通じて、子どもの精神安定を図る。
- ・家族や関係機関との連携と協力に努める。



《編集後記》

出会いと別れの季節が過ぎ今年度もスタートしました。今年度は新しい児童を迎え12名でスタートしました。

コロナウイルスもだいぶ影を潜め、子供たちも過ごしやすくなって来たのではないかと思います。制限が緩和していく中で、子供たちの新しい出会いや経験が増え、楽しい思い出がたくさん残る1年となるよう支えていきたいと思っています。

(みらい広報委員会)

